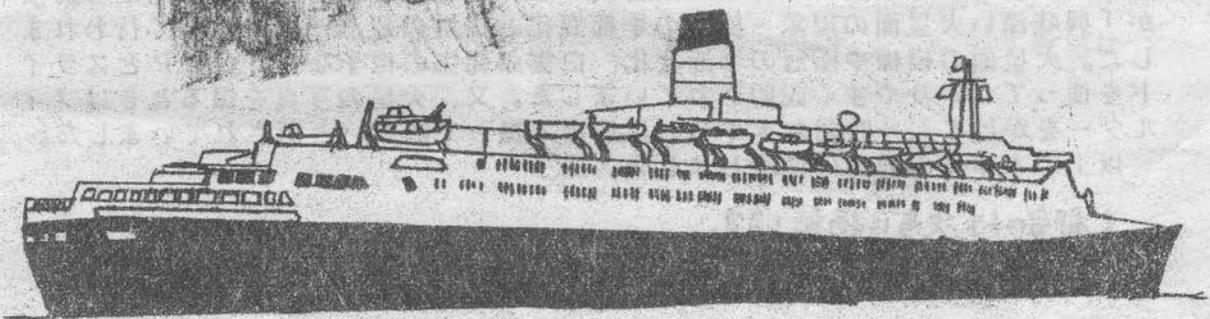
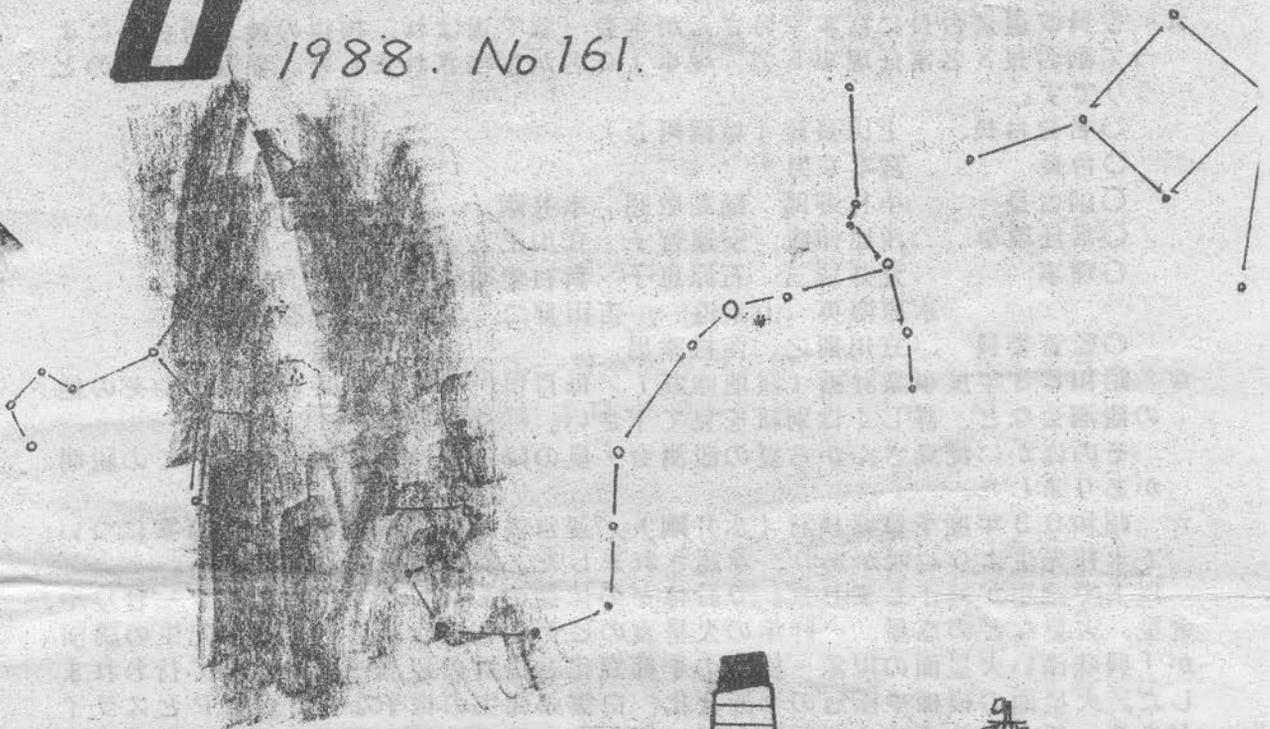


星 屑

6

1988. No 161.



去る5月22日の日曜日、昭和63年度熊本県民天文台定期総会が、熊本博物館古京町分室にてとり行われましたので、以下報告致します。

私、浅地の司会で始まりました総会は、宮本幸夫台長の挨拶、上田城南町長の挨拶と進み、議長に長谷勇治氏が選ばれ、議事に入りました。

☆ 昭和62年度業務報告(新村史明) / 昨年度は、秋以降にブラッドフィールド彗星が明るくなったためか、10月・11月が特に会員来台者数が多かったようです。^{*}次頁のグラフを参照して下さい。

☆ 昭和62年度会計報告(永井剛) / 同封の別紙を見て下さい。予算と決算の大きな差は、ハレー記念誌によるものです。観測できなくなるぎりぎりまでの記録を盛り込もうとしたために遅れてしまい、未だに発行できずにいます。その他、階段改築の予定が、補修ですんだ事、電気代を昨年度から払うようになったことなどがあります。そのたはほぼ予算どおりというところのようです。

☆ 昭和62年度会計監査報告(立川則之) /

☆ 役員改選 / 台長に宮本幸男さんが全会一致で選ばれ、挨拶の後、新台長によって副台長3名常任理事5名、理事10名が委嘱されました。新役員は次のとおりです。

- 名誉台長、 上田長雄(城南町長)
- 台長 宮本幸男
- 副台長 小林寿郎 艶島敬昭 永井剛
- 常任理事 浅地伸威 安達智子 立川正之 長谷勇治 渡辺知史
- 理事 荒井賢三 石原恵子 新村史明 高田祐一 富永昌人
- 永原博英 山本遵 吉田健二 芳野浩之 渡辺和宣
- 監査委員 立川則之 西村幸男 敬称略 五十音順

☆ 昭和63年度事業計画(浅地伸威) / 毎月恒例の「星を楽しむ会」やその他の観測会など、詳しくは別紙を見て下さい。

そのほかに艶島さんから夏の観測会「星の降る夜 in 清和」についての説明がありました。

☆ 昭和63年度予算案検討(永井剛) / 運営委員会で検討された予算案について永井先生より説明があり、承認されました。別紙を参照して下さい。

以上で議事が終了しました。5分ほどの休憩の後、IIで撮ったハレー彗星や、金星、火星などの惑星、一昨年火星食のビデオを流したあと、鳴海先生の講演が「興味深い火星面の現象-極冠の季節変化と白雲の観測-」と題して行われました。火星面の模様や極冠の季節変化、白雲の発生の様子など、OHPとスライドを使ってわかりやすく説明されていました。又、火星の写真を撮るときはフィルターをかけて、一時間おきぐらいに続けて撮って欲しいと話されていました。

以上で本年度の総会は閉会しました。

^{*}都合により、次号に掲載します。

★ INFORMATION ★

ビクセンの双眼鏡を売ります。

機種 (HR) IF 8倍 30mm ¥35,500
性能 ダハプリズム 防水型
実視界 8.3° ラバー加工
1000m 先視界 145m
重さ 750g

一台限り、新品です。

定価 ¥35,500 を 特価 ¥10,000
保証書 5年間つき

問い合わせ

TEL 096-364-1187

住所 〒862 熊本市大江4丁目2-1

ダイエー熊本店専門店街 2F メガネのヨネザワ

営業時間 AM 10:00~PM 6:30

担当 中尾

ミザールのモータードライブが、まだ残っています。
ご希望の方、お問い合わせください。

星屑 No. 159 で、お知らせ致しました天文教室に
参加していただきまして、大変有難うございました。

天体写真の写し方。

去る6月5日(日)、ダイエー熊本店4F オレンジホールにて、天文教室が行われました。その内容紹介もかねて、そのときのパンフレットの一部を掲載します。やはり、天文ファンならみんな天体写真が撮れるというわけではないので、会員の中にも写し方がわからない人もいらっしゃるでしょう。もともとわたくし知りたいという人は天文台へどうぞ。05です。

天文教室 (1988.06.04)

ダイエー熊本店にて

今日は、熊本県民天文台で副台長をしている鮎島といいます。日頃は、城南町の天文台で星空へのご案内役をつとめています。今日はダイエー熊本店さんをはじめ関係各位のご協力により、このような催しを行うことができました。心から厚く御礼申し上げます。

さて、今日の第一回天文教室は、<天体写真の写し方>と題しています。

1985年から1986年にかけてのハレー彗星ブームで天体望遠鏡を買い求められながら、その後持て余していらっしゃる方や、星空に興味をもちはじめ何から手を付けて良いのか判らない方のために、少しでもお役に立てればと思い、天体写真の面白さなどについてお話ししたいと思います。

短い時間ですが、私が喋ってばかりでは面白くありませんし、天文台の仲間も数名参加してくれていますので、後半では実際に望遠鏡やカメラを使ってご質問や疑問に答えながら進めさせていただきます。

1、まずはスライドの上映です。

<春の星座> 今夜、あなたの頭上に輝いている星座の探し方がわかります

<ハレー彗星他> 私の天体写真の一部です。

2、次は、天文ガイド編のビデオ上映です。

<天体写真の写し方>

3、ご質問、疑問があれば遠慮なくお尋ね下さい。

4、カメラ、望遠鏡を使った実技編です。

実際に自分の手で触れながら、覚えて頂きたい事ばかりです。

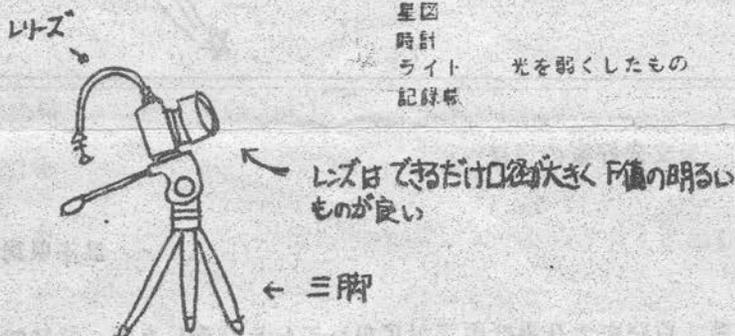
<固定撮影> カメラと三脚、それにレリーズがあればOKです。
ダイナミックな星の動きが写せます。

<ガイド撮影> 赤道儀式架台の使い方が基本です。
星を点像として写せますから、見事な星座や天の河を写しとることができます。

<直接焦点撮影・拡大撮影> 月、惑星や彗星などをうつすときに使う方法です。専用のパーツの使用や熟練が必要ですが、うまく写ったときの嬉しさはまた格別です。

天体写真の写し方 (星野写真編)

固定撮影	1. 用意するもの	カメラ	B (バルブ) シャッター のついているもの
		三脚	できるだけ丈夫なもの
		レリーズ	長時間露出につかいます
		つゆよけ	フードやカイロなど
		星図	
		時計	
		ライト	光を弱くしたもの
		記録帳	



2. 写し方 目的の星座などにむけ、構図を決め、レリーズを使ってシャッターを切ります。あらかじめ予定していた露出時間までそのままシャッターを開放しておきます。
3. 注重点 地上の景色などをうまく取り入れると面白い写真になります。旅行に行ったときなど、その土地特有の景色といっしょに、星を写してみましよう。
4. 露出 30秒位から30分程度までいろいろな露出を試みて下さい。長い露出をするときは絞りを絞ることをわすれないうで。
5. その他 月、金星、水星など夕方の西の空、明け方の東の空に見えるときがチャンスです。

長い時間露出すると、星の明るさ、色の違いがはっきりわかります。



☆『星の降る夜 in 清和』のお知らせ。

総会や天文教室のときにも話が出ましたが、今年の夏、天文台は清和村と共催でイベントを計画中で、現在着々と準備が進められています。先日、天文雑誌や九州各地の同好会・天文愛好家の方々へ下記のような案内を出しました。ここに掲載して会員の方々への案内に代えていただきます。



天文愛好家の皆様へ

熊本県民天文台

拝啓、宵空が去り再び雨雲が広がってしまいましたが、皆様如何お過ごしでしょうか？梅雨があけたらと観測計画など楽しんで居られることと拝察いたします。

日頃より、私達の熊本県民天文台についてご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。県民天文台も開所以来満6年を経て、益々ボランティア活動による一般公開活動を強化して行きたいと考えている所です。

昨年はブラッド・フィールド彗星の登場で私達も久々に天文台としてキャンプによる観測会を開催し、天文台を離れて会員相互の親睦をはかることができました。そのキャンプがあまりにも好評でしたので、今年は夏のベルセ群観測会にあわせて一般の天文ファンの方々をもまきこんで、キャンプを実施したいと考えて居りました。そこへ、たまたま前回キャンプ地の清和村の役場の方から、『星についてのイベントができないだろうか』というご相談があり、何度か打ち合わせをさせて頂いた結果、両者の共催で『一大イベント』を行うことになりました。

その内容について概略をお知らせ致しますので、皆様もお誘い合わせのうえぜひご参加下さい。現地は、阿蘇外輪山の南斜面に位置し、標高は約700m、星見には絶好の場所で通称「井無田高原」と呼ばれています。地元の子供達との交流を中心にいろんな手作りのイベントを用意して、万一雨天の場合でも十分に楽しもうという内容です。

皆様方の益々のご発展を祈念し、また『星の降る夜 IN 清和』の会場でお目にかかることを期待致します。

敬具

第一回九州スター・フェスタ

星の降る夜 IN 清和

1. 主催 熊本県民天文台
清和村
2. とき 昭和63年8月11日から12日にかけて
3. ところ 熊本県上益城郡清和村 井無田キャンプ場付近の草原
4. スケジュール
- | | | |
|--------------------|-------|------------------------|
| 受付開始 | 8月11日 | 14:00 |
| 開会行事 | | 16:00 |
| 夕食 | | ※ おいしい夕食を準備しています |
| 各種イベント | | 19:00 |
| 第一部 | | ↓
22:00 |
| 第二部 | | ※ 夜食もあります
↓ |
| | 8月12日 | 05:00 |
| | | 06:00 |
| 朝食
記念撮影
閉会行事 | | ※ 何が出るかたのしみに!
08:00 |

5. イベントの内容

- (1) 星座教室 プラネタリウムでおなじみの矢部 絹子アナウンサーが星空の下で星座物語を実演！
よそでは決して味わえない生の星座物語を楽しんでください。
- (2) 天体写真撮影 固定撮影からガイド撮影まで、星の写真の写し方を実地指導いたします。あなたも今夜から天体写真マニアになれます。
- (3) 星雲・星団めぐり 大型双眼鏡などで、夏の夜空の観光名所をご案内致します。
- (4) 星のビデオ撮影会 新兵器登場でアッと驚く映像が・・・
- (5) 流星観測会 流れ星の捕まえ方の秘法を伝授します。夜どうしお付き合いですヨ。
- (6) 惑星観望会 金星・火星・木星・土星・天王星。さあ、あなたは幾つ見れるでしょうか？

★運営委員会の期日変更と草刈りのお知らせ★

6月12日に予定していた草刈りは、雨天のため延期となりましたが、運営委員会での話し合いの結果、7月10日に実施することになりました。それに伴い、7月の運営委員会も7月10日に変更になります。

草刈り 15時～

運営委員会 18時30分～

当日の連絡は先月と同じ。

草刈りの他、あき缶処理や望遠鏡の整備もやります。

以上、運営委員の方、よろしくお願いします。

編集後記

みなさん、お待たせしました。星屑6月号です。5月号での公約を守り、なんとか6月中に出すことが出来ました。「原稿が締め切りに遅れることはないであろう」などと書いておきながら、実は自分が原稿を書かねばならなかったという、なんともマヌケな話もありました。まったくあんなこと書かなきゃよかったと思いましたが、結局私の信用は落ちずにすんでほっと胸をなでおろしているところです。

さて、私はまた、先月号に続いて今月も予告したいと思います。といっても発行日ではなく内容についてです。来月号には熊大物理学科の荒井先生の記事をのせる予定です。北極星までの距離について、わかりやすく説明されています。この記事は今月号にのせるつもりでしたが、スペースの都合で来月号になりました。ご期待下さい。

それでは皆さん、また7月号でおあいしましょう。

熊本県民天文台機関誌「星屑」 1988年6月号 通巻 161号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 浅地 伸威